

平成 22 年 9 月 21 日
財団法人日本建築防災協会

月刊誌「建築技術」2010年8月号No.727の「読者コーナーQ&A」について

「建築技術」2010年8月号No.727、188～189ページ「読者コーナーQ&A」『既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・同解説』の無開口耐震壁の終局せん断強度について」の回答に関し、株式会社建築技術のホームページ（2010/09/16更新、下記URL）に下記の【お詫びと訂正】記事が掲載されましたのでご確認ください。

<http://www.k-gijutsu.co.jp/seigo/index.htm>

【お詫びと訂正】

本誌2010年8月号No.727の188～189頁の「読者コーナーQ&A」の『【既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・同解説】の無開口耐震壁の終局せん断強度について』の記事に関して間違いがありましたので、財団法人日本建築防災協会および関係各位にお詫び申し上げますとともに、訂正いたします。

上記の記事内容に関して、財団法人日本建築防災協会より内容に大きな間違いがあるのご指摘がありました。

ご指摘内容は、財団法人日本建築防災協会発行の『既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・同解説』では、1977年に初版を刊行して以降、「無開口耐震壁の終局せん断強度 wQ_{su} を推定する式」には、柱部材、梁部材

と同様に、ルートの付かない式を採用しており、転記ミスではありません。

なお、『既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・同解説』の102頁の計算式にルートが付いているのは、103頁上1行目から6行目にある第1次耐震診断用の無開口壁の平均せん断強度 $w\tau_{su}$ を 3N/mm^2 と定めるに当たって用いた検討式を示したものです。

執筆にあたり、財団法人日本建築防災協会のご確認およびご了解を得ずに、誤った内容の記事を掲載いたしましたことをお詫び申し上げます。

清水 泰
株式会社建築技術代表取締役 橋戸幹彦